

「うずま川遊会」

2004 年夏、巴波川にて舟行を開始。本格的に始まったのは2005 年夏。舟行を始めたきっかけは「小江戸とちぎ会」の会員達が佐原市の舟運を見たことが始まりで、その後、「小江戸とちぎ会」を中心に、各種団体の参加のもと、同年 10 月から定期的な舟行が始まった。最初は毎週日曜日のみで、現在は毎日の舟行になって、栃木市の観光スポットに成長してきた。また、この活動は色々な観光面の賞にも結びついて、大きく地域に貢献している。

「西方町文化財愛護ボランティア」

平成 12 年役場の職員であった中村良一さんが、定年退職。これを機に歴史好きが高じて退職後時間の余裕をみて、改めて西方町の歴史を調べる。一人で始めた活動の思いが町民の皆さんに伝わり活動に賛同する方たちが集まってきた。今や会員は 20 名の大人数である。特に力を入れたのが「中世の山城・西方城址」。現場を確認し、地図を作成、歴史探訪の散策コースとして、道しるべも設置、「西方城址散策マップ」を西方町と協働で完成した。

「NPO 法人・自然と人間の森おおひら」

2000 年11月、退職した学校の先生たちが中心になって設立された。人間は本来、自然とともに生きるように心も体も出来ている。しかし、近年、家庭でも学校でも子供たちにとって自然に触れる機会が少なくなっている。そこで、大人も子供も一緒に自然に親しみ、自然の中で、ものづくりや人と人との触れ合いの場を通して、豊かで素直な人間の心を育てようという思いからのスタート。宿泊できる施設もある自然体験の場となっている。

「いちえ会」東京 <http://www.ichiekai.net/home/>

シニアや地域の ICT 活用を推進している「いちえ会」はシニア情報生活アドバイザー150 人を抱えるオンラインコミュニティー。ホームページ上の談話室がみんなの溜まり場でコミュニケーションの中心だが、駒場教室では日々シニアのためのパソコン講座を開催。その中でもオートシェーブの講座は特筆。談話室は、ひとりひとりの良識に支えられ、シニアならではの暖かいコミュニティーが実現、オフラインミーティングも盛ん。また、シニア情報生活アドバイザーの資格を取得して、地域に根ざした活動をはじめたり、ケアハウスで超高齢の方にパソコンのてほどきをしたり、痴呆予防活動のお手伝いをするなど、幅広く活動の場を広げている。自分の趣味や楽しみをパソコンにつなげる…そんな活動をしながら、「パソコンを通して人と人とのつながりを大切にする」が大林代表の思い。

参加申込書	
お名前	電話番号

お申込み電話:0282-20-7131 又は FAX:0282-21-2135 (とちぎ市民活動推進センター)

お申込み電話:0282-20-3322 又は FAX:0282-20-3355 (NPO 法人 栃木県シニアセンター)